



政策1 群馬の未来を担う子ども・若者の育成
 政策11 群馬の産業の強みを活かす戦略
 政策12 豊かな文化・魅力を活かしたイメージアップ

東国文化の活用・発信

とりまとめ担当課
 文化振興課 (027-226-2525)

◆東国文化の「すごさ」や「ストーリー」をわかりやすく発信

次代を担う子供たちをはじめ、県民が本県の貴重な歴史文化遺産の価値を再認識してもらうことで郷土への誇りと愛着を育むとともに、東国文化の認知度の向上を図る。

◆観光部局等との連携強化によるイメージアップと観光誘客の促進

ユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑をはじめ、本県の歴史文化遺産の価値や魅力を県内外に発信することで、「東国文化＝群馬」のイメージを全国に発信・定着させ、本県のイメージアップと観光誘客をさらに進める。

◆古墳や遺跡を調査・研究・整備し成果を発信

東国文化の中心地として栄えた証である古墳や遺跡を調査・研究・整備し、成果を発信する。

＜総額 60,402千円＞

(文化振興課)

1 東国文化周知 [26,551千円]

<主な事業内容>

- 黒井峯遺跡AR制作【新規】
最新技術を駆使して当時の村の様子を再現する映像を制作
- 群馬HANIー1(埴輪輸)グランプリ【新規】
埴輪をきっかけに郷土の歴史文化への興味関心を高めてもらうため、県内出土埴輪の人気投票を実施
- 群馬古墳フェスタ2018(仮)【新規】※「古代東国文化サミット」の後継事業
畿内の専門家等を招いたシンポジウムと、古墳を会場にしたイベントを同時開催
- 東国文化ガイドブックの作成【新規】
- 東国文化体験キャンプ
- 東国文化副読本の制作・配布・販売 ほか



県内出土埴輪



東国文化体験キャンプ

2 「世界の記憶」上野三碑周知 [5,000千円]

<主な事業内容>

- 上野三碑発信事業【一部新規】
県内各地での上野三碑展の開催、スタンプラリーの実施、ラッピング電車の運行など
- 登録1周年記念イベントの開催【新規】
- 登録記録集の作成【新規】



上野三碑日中韓国際シンポジウム

(文化財保護課)

1 古墳・金井東裏遺跡情報発信 [1,130千円]

群馬はかつて東国文化の中心地として栄え、数多くの古墳や遺跡が現代まで伝えられている。こうした魅力を県内外に広く周知するため、古墳総合調査や金井東裏遺跡出土甲着装人骨等の成果も活用し、各種の普及啓発事業を実施して情報発信を行う。

<主な事業内容>

- 古墳学習プログラムの作成【新規】
- スマホ用アプリの活用



観音山古墳

2 「歴史の道」活用促進 [3,977千円]

五街道の一つである中山道をはじめ、本県には古くから多くの基幹道路が通過し、交通の要衝として栄えてきた。こうした歴史の道を紹介する15冊のパンフレットを作成したところであるが、内容を刷新して刊行し、その価値を広く県民に周知し、多くの人に訪れてもらえるようにする。

<主な事業内容>

- 「群馬県歴史の道シリーズ」パンフレット8冊刊行【新規】



歴史の道パンフレット

(観光物産課)

1 山と歴史のぐんま観光事業 [23,744千円]

東国文化等の歴史文化遺産など、「これぞ群馬」という観光商品の開発を行う。

<主な事業内容>

- 外部発信(メディア出稿、モニターツアー実施、動画作成等)【一部新規】
- 旅行商品販売促進 ほか



上野三碑ガイドツアー